賢明女子学院リヴィエ会会報

あらむね

Vol. 57
2018.3.1 発行

Shining Stars

「あらむね」の由来

「あらむね（ALUMNAE）」とは、女子同窓生という意味で、ラテン語が語源の英語“ALUMNA”の複数形です。シスター・フェクトが命名、元教頭 堀先生が題字を揮毫してくださいました。

『マリアと天使たち』　47回生　土屋　志保（旧姓 山田）

挨　　拶

賢明ファミリーの皆様へ

会長　**永井　綾子**（旧姓：大野）（24回生）

賢明ファミリーの皆様、いかがお過ごしでしょうか。日頃より同窓会活動においてご理解を頂いておりますことを、心より感謝申し上げます。

65回生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。賢明で学ばれたことが、皆さんの新しい道を照らす灯りとなりますように。皆さんを賢明ファミリーのメンバーとしてお迎えできることは、この上ない喜びです。

さて賢明女子学院は間もなく70周年を迎えます。この大きな節目に向かって新しいプロジェクトが始動されます。同窓会もその趣意に賛同し母校の発展のために協力していく所存です。リヴィエプロジェクトについては本誌と同封の趣意書をご一読頂き、何とぞ賢明ファミリーの皆様のお力添えをよろしくお願いします。

今年度もあらむね委員になってくださった理事の方々のお力を頂いて、本誌を皆様のお手元に届けることができました。編集のプロが作ったのではなく、同窓生が同窓生のために作った会報です。『あらむね』に込められたたくさんの想いが皆様に伝わりますように、心より願っております。

同窓生（リヴィエ会員）の皆様

理事長　シスター　**山本　千恵**

今年も装い新たに「あらむね57号」が発行されますことを心から喜び感謝いたします。

そして、新たに会員に加わられる第65回卒業生116名のかたがたには新しいスタートをお祝いし、前途のご多幸をお祈りいたします。賢明の心に結ばれて、ますます広がってゆく同窓生のお一人お一人の生活の場に暖かい愛の光が灯され、幸いが広がりますようにと願ってやみません。

さて、今年はこの「あらむね」誌上をお借りして、皆様に賢明女子学院へのご寄付をお願いすることになりました。賢明女子学院が、日々年々学院に学び成長してゆく生徒たちと共にあって、時代の要請に応えつつ絶えず新たに活力を発揮してゆくことが出来ますためには、心身の育ちの場を共有して来られた同窓生の皆様こそが、かけがえのない支えであり学院成長の証しでもあります。学院は創立70周年を間近に迎えようとする今、更なる成長を目指して、来年度より「リヴィエ・プロジェクト」と銘打った学校改革を行うことにいたしました。そこで、これを好機とさせていただき、同窓生の皆様の力強いご支援をお願いすることになりました。なにとぞご理解を賜り、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、同封の別紙趣意書にあります次第によりましてのご支援を賜りたく重ねてお願い申し上げます。

シスター・フランシス

校　長　**松浦　明生**

昨年、私はボストンにあるPresentation of Mary Academy（略称ＰＭＡ）という姉妹校を国際交流委員の先生２名とともに訪問しました。毎年実施している高校の姉妹校語学研修旅行の新たな訪問先にＰＭＡが決まったため、下見と打ち合わせを兼ねての表敬訪問でした。

ＰＭＡは敷地のそこかしこに聖母像があり、校舎の掲示板には聖句やマリー・リヴィエの言葉が掲示されていて、賢明と同じ雰囲気を持った学校でした。隣接する修道院は中世のお城を思わせる趣のある建物で、30数名のシスター方が生活しておられました。その中に、かつて賢明女子学院で教えたことのあるフランシス（レイチェルとも）というシスターがいらっしゃいました。私たちが来るのをとても楽しみにしているとのことでした。妹さんもシスターで（シスター・ルイ）、同時期に賢明におられたそうですが、先年お亡くなりになりました。帰国後、「賢明女子学院50年史」を開いてみると、姉妹で仲良く写っている写真が載っていました。フランシスは95歳になられ、歩行器を使ってはいましたがとてもお元気で、私たちが来ると笑顔で迎えてくださり、それから食事ごとに私たちのいるテーブルに来てさまざまな話をしてくださいました。日本が大好きで、日本にいた数十年が自分の人生の中でも本当に楽しい時期だったと目を輝かせて話をされたのが印象的でした。当時教えた生徒のこともよく覚えておられました。創立当時の興味深いエピソードも聞かせてくださいました。シスター・フランシスが話してくださった日本についての楽しい思い出の多くは賢明女子学院にからむものでした。賢明女子学院の生徒との楽しい交わりがシスター・フランシスの最良の思い出だったのです。今、シスター・フランシスが賢明の卒業生の皆さんに会うことができればどんなに喜ばれるだろうかなどと想像しながら帰国の途につきました。

私は卒業生の皆様と母校との結びつきはとても大切なことと思っております。リヴィエ会の皆様におかれましては、学院祭、クリスマス行事などの折に、恩師や母校の様子を見がてらぜひご来校ください。教職員をはじめ生徒一同、楽しみにお待ちしております。

65回生を送り出すにあたって

高3(65回生)学年主任　**柳瀬　順子**

65回生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。また、同窓会の皆様、今年度も新しく会員となります卒業生のために、式の準備などに際してお心配りをいただきましてありがとうございます。

聖母マリア様のご保護のもと、そして多くの方々との出会いとお導きによって、65回生は知識と知恵を培い、「真理と光を求める賢明の道」を歩む力をいただきました。これからはその力を世の中で発揮し、平和の担い手となっていくことでしょう。

主キリストはおっしゃいました。「私の兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは、わたしにしてくれたことなのである。」

私たちはKENMEI FAMILYとしてこれからも歩んでいきますが、すべての人に開かれたFAMILYとしてイエス様の福音を生きる者となりますように。卒業生一人一人が神様からいただいた命の賜物に感謝し、歩んでいきますようにお祈りいたします。

卒業生のことば

田中　風花（65回生）

「明日を照らす灯台の光となるために。」

この言葉に惹かれ、賢明女子学院に入学した2012年から６年の月日が経ち、今、卒業を迎えようとしています。

共に笑い、学び、刺激し合いながら過ごした65回生のみんな。いつも私たちの道を照らし、熱心に温かく育てて下さった先生方。私がいつも尊敬していた先輩方。私を頼りにしてくれるかわいい後輩達。たくさんの人と出会い、支えられながら過ごした賢明での６年間は私を大きく成長させてくれました。

そして今、私たち65回生は賢明を巣立ってそれぞれの道へ羽ばたこうとしています。賢明で学んだThe Bestの精神を胸に、善意を持つ人になれるよう努力します。

Do to others as you would have others do to you.
自分が人からしてもらいたいと思うように、人に対してもしなさい。

65回生全員が夢に向かって私たちらしく前に進むことができますように。

旧職員便り

「あの先生に会いたい」

伊賀崎先生のお宅訪問

●お二人の近況をお聞かせ下さい。

健志先生：生涯学習大学校で学んで３年目。現在は『日本史』を勉強中です。

香木先生：校区の婦人会長として忙しい毎日です。(9月には明治43年に始まり100回目を迎えた八幡校区敬老会を婦人会長として大成功させて、その様子が神戸新聞にも掲載されたそうです。)

●お二人の出会いのきっかけは職場でということになると思いますが、お互いの印象はいかがでしたか？

健志先生(当時26歳) → 香木先生（当時23歳）
かわいいな～。

香木先生 → 健志先生　やさしい人だな～。

お付き合いから結婚に至ったきっかけはお二人共に本当にコレといった事が思い出せないとのことで「神様のお導き」だったのでしょうとのことでした。

●お二人のご経験から、夫婦が同じ職場で仲良く働き続けられる秘訣は何だと思われますか？

結婚前、「夫婦で職場に居られると迷惑だ。」と同僚の先生に言われたことがあり、夫婦ではなく“個”として仕事をするということを徹底しました。

「夫婦であることを職場では忘れる」という事に尽きると思います。

●賢明生また卒業生にメッセージがあればお願いします。

神のなさることはすべて
時にかなって美しい『伝道の書　３－11』

自分が今置かれている立場や状況を受け入れて日々の生活を大切に送って下さい。

辛い時、悲しい時も『神様から与えられた時』。

乗り越えたときに新しい世界が見えてくると思います。

後になってみると意味のあるものだったと気づくことがあると思います。

「旧職員の集い」で花見をしました。

「旧職員の集い」をお世話させてもらっている３人（山本満、本庄哲郎、伊賀崎健志）が３月初めに集まった。在職中の話に花が咲き、４月の入学式前後に新人の歓迎会を兼ねて夕方からよく花見に行ったこと、なぜか、花見の日に限って非常に寒かったことなどが話題に出た。

そこで今年の集まりは“花見にしよう！　４月４日に開催”と急きょ話がまとまった。

急なことなので８人の参加だった。(小野一郎、岸本浩二、内海啓子、大藤明子、内藤美智、我々３人)。当日は絶好の花見日和！　西の丸へ上る手前に場所を取り眼前に大天守がそびえ、頭上に満開の桜と素晴らしい一景を堪能した。

丁度、少林寺拳法部が弁当を食べながら花見をしていた。明るい、感じのいい生徒たちのグループだとみていたので、お互い気がつきびっくり。さすが、賢明生とうれしかった。

次回からはもっとたくさんの人たちが参加しやすいように考えたいと思います。乞うご期待！

第２(第３)の人生を楽しく！　そして賢明のますますの発展を祈念しています。　(伊賀崎健志)

賢明Now

中学３年間はエンジ色、
高校３年間は紺色のリボン。
賢明生の伝統はここにも受け継がれています。

2016年度　進学状況

国公立大学

大学名	学部名	現役	既卒	合計
北海道教育（旧岩校）	教育	1		1
千　葉	法政経		1	1
滋　賀	経済		1	1
大　阪	外国語	1		3
	文	1		
	法	1		
神　戸	経済		1	2
	国際人間科	1		
奈良女子	文	1		1
鳥　取	医	1		1
岡　山	教育	2		2
山　口	教育	1		1
徳　島	理工		1	1
国際教養	国際教養	1		1
横浜市立	医		1	1
神戸市外国語	外国語	1		1
神戸市看護	看護	1		1
兵庫県立	環境人間	2		5
	経営	1		
	工		1	
	理		1	
県立広島	生命環境	1		1
防衛医科大学校	医学教育部	1		1
合　計		18	7	25

私立大学

大学名	学部名	現役	既卒	合計
酪農学園	獣医学群		2	2
青山学院	法	1		1
北　里	獣医		1	1
上　智	外国語	1		4
	総合人間科	2		
	文	1		
白百合女子	文	1		1
成　城	経済	1		1
津田塾	学芸	2		2
帝　京	医療技術	1		2
	経済	1		
立　教	文	1		1
フェリス女学院	文	1		1
名古屋外国語	外国語	1		1
京都外国語	外国語	2		2
京都産業	外国語	5		6
	文化	1		
京都女子	現代社会	2		5
	文	3		
京都薬科	薬	1		1
同志社	商	1		10
	政策	4		
	生命医科	2		
	文	2		
	理工		1	
同志社女子	学芸	1		5
	現代社会	1		
	表象文化	2		
	薬	1		
立命館	経済	1		9
	国際関係	1	1	
	政策科	3		
	生命科	1		
	理工	1	1	
龍　谷	経営	1		4
	国際	3		
大阪医科	看護		1	1
大阪音楽	音楽	1		1
関　西	外国語	3		22
	環境都市工	1		
	社会安全	2		
	商	1		
	政策創造	1		
	総合情報	1		
	文	8		
	法	5		
関西外国語	英語国際	2		5
	外国語	3		
近　畿	経営	2		4
	国際	2		
大　和	教育	1		1
関西福祉	看護	1		1
関西学院	教育	2		36
	経済	1		
	国際	4		
	社会	4		
	商	2		
	総合政策	9		
	文	6	1	
	法	3		
	理工	4		
甲　南	経営	3		21
	経済	2	3	
	フロンティアサイエンス	2		
	文	7		
	法	1		
	マネジメント創造	2		
	理工	1		
甲南女子	看護リハビリテーション	2		44
	人間科	27		
	文	15		
神戸海星女子学院	現代人間	2		2
神戸学院	栄養	2		4
	経済	1	1	
神戸芸術工科	芸術工	1		1
神戸松蔭女子学院	人間科	17	3	33
	文	13		
神戸女学院	人間科	6		19
	文	12	1	
神戸女子	家政	4		19
	看護	1		
	健康福祉	5		
	文	9		
神戸親和女子	発達教育	6		8
	文	2		
神戸常盤	保健科	1		1
神戸薬科	薬	4		4
園田学園女子	人間健康	2		2
姫　路	看護	2		2
姫路獨協	医療保健	3		5
	看護	1		
	薬	1		
兵庫医療	看護		3	7
	薬	4		
武庫川女子	看護	2		22
	生活環境	1		
	文	10		
	薬	9		
岡山理科	生物地球	1		3
	理	2		
川崎医科	医		1	1
川崎医療福祉	医療技術	1		1
福　山	薬	1		1
徳島文理	薬	1		1
合　計		311	20	331

2017年春の進学状況

進路係主任　柳内　賢

2017年春に学院を巣立った64回生は、2013年度に高校でコース制を導入してから２度目の卒業生でした。コースは、一般入試で国公立大学（特に地方拠点大学以上の難関大）を目指すソフィアコースと、推薦入試から受験を計画して難関を含む私立大学や国公立大学を目指すルミエールコースの２つです。

進学状況は、約94％が現役で進学し、そのうち約92％が大学へ、他は短期大学や専門学校、海外の学校へ進学しました。国公立大学では、大阪大や神戸大、国際教養大、防衛医科大など、難関大の合格者が多かったのが特徴です。私立大学も、上智に４名、関関同立に77名など、難関大の合格者数は昨年並みでした。

進学する学部では、文系は文学・外国語学部系統が多く、理系は約60％が医療保健系統で、薬学と看護には各10名程度が進学します。主な進学先として、５名以上が進学した大学は、関西大・関西学院大・甲南大・神戸女学院大・神戸女子大・神戸松蔭女子学院大・武庫川女子大です。

賢明2回生あるある　お昼前になると、シスターの台所からおいしいにおいがした。

2018年度　中学入試状況

中学入試

入試日程	募集人員	出願者数	受験者数	合格者数	入学予定者数
A日程	115	117	116	95	89
B日程	30	42	40	30	17
C日程		19	9	6	5
計	145	178	165	131	111

※入学予定者数の内訳は、ソフィアJr.コース38名、ルミエールJr.コース73名です。
※最終的な入学者は2月17日に確定します。

入試状況

入試係　守田　悠紀

2018年度入試から、中学でもコース別での募集を開始しました。2013年度から導入された高校のコース制が軌道に乗りはじめ、早い段階からそれにつなげることを目標に、ソフィアJr.（特進）とルミエールJr.（進学）の2つのコースを設けています。ホームページでは常に情報を発信し、学校見学はいつでも可能です。今後も、よき伝統を守りながら賢明の改革は続きます。賢明のよさをご存じの卒業生の皆様も、近くの小学生・中学生にお声がけをお願いします。

賢明2回生あるある　2泊3日の黙想会の途中に、学校を脱出してお菓子を差し入れてくれた人がいた。

Shining Stars

～卒業生の一人一人が輝いています～

幻の雲火焼～桃井ミュージアムにて

9回生
桃井　香子さん

いつの間にか高齢者というレッテルを貼られる年になってしまいました。でも年を重ねたおかげで両手に支えきれないほどの出会いという宝物を頂きました。40年ほど前赤穂に伝わる「幻の雲火焼」を復元するという一つの出会いがありました。復元といっても焼物に関する知識は乏しく雲火焼の資料もなく唯々失敗を繰り返しながら思い付くことをやってみるしかありませんでした。しかし持ち前の好奇心と嫌と言えない性格が功を奏したのか、20年ほど経った頃には「雲火焼というものを体得した」と実感することが出来たのです。「もの作り」の仲間も増えグループ展に参加、各地のギャラリーやデパートで個展を開くなどの活動をして参りましたが赤穂に展示館を持つ必要があると感じるようになって参りました。幸い先祖が経営をしていた会社の福利厚生施設が自宅に隣接してありましたのでそれを買い取り「雲火焼展示館・桃井ミュージアム」を7年前に立ち上げました。

瀬戸内を見下ろす庭園には水琴窟が興を添え様々なジャンルの企画展を開催、「万葉集を楽しむ会」等を開いております。一昨年同期生の岩崎幸子さんのお力添えで現在活躍中の若手ヴァイオリニスト中澤真紀子さんのコンサートを催し美しい音色に大勢の皆様が酔いしれたことは忘れられない思い出です。これからも素敵な出会いを重ね宝物が増えていくことを楽しみにしております。

我が同期の誇り！おめでとう！

この度、我20回生の濱田昌子さんが兵庫県民功労者表彰を受賞されました。この受賞は同期生として大変嬉しく誇らしく思います。

彼女は歌舞伎舞踊のプロの継承者として、国内をはじめ数十か国にわたる海外との世界的な文化交流に貢献し、県内では兵庫県立美術館、兵庫県立武道館、世界遺産姫路城のフェスティバル等を開催し、文化プロデューサーとして青少年の文化力育成にも長年心血を注いでこられました。昨年、開設された「兵庫県伝統文化研修館」（姫路市双葉町）も彼女の意向により実現したものです。

失われつつある日本の心を、人間形成や青少年の教育・修養、国際化への対応地域交流の推進を通して蘇らせる活動、これこそ賢明で学んだキリスト教精神そして人間性の向上に繋がっているのではないでしょうか。

私を含め多くの同窓生が彼女の賛同者としてこの「研修館」でお手伝いしております。

私は兵庫県文化ネットワークの会員として、自分に出来る事を支援しながら、母から譲り受けた着物にも袖を通す事が出来て喜んでおります。この活動を通して日本の文化に触れ、またその素晴らしさを再認識する機会を頂けてとても幸せに感じています。日本の伝統文化伝統芸能、論語、座禅、留学生や海外からの来訪者支援など様々な事業を展開しているこの「研修館」で、同窓生の皆様も一緒に活動してみませんか。

お正月会のお手伝い
20回生　詫摩　元子さん（旧姓：大賀）

詫摩元子（20回生）　川端博子（18回生）　濱田昌子（20回生）　宮崎朋子（22回生）　柴垣勝代（12回生）

世界的指揮者　柳澤寿男氏を招いて、
研修館１周年記念事業をお手伝い

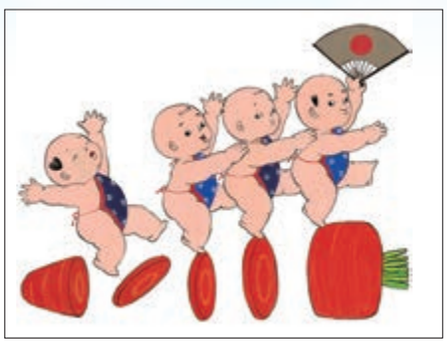
賢明2回生あるある　黙想会で学校に泊まった時、夜に枕投げをしてシスターに叱られた。でも楽しかった。

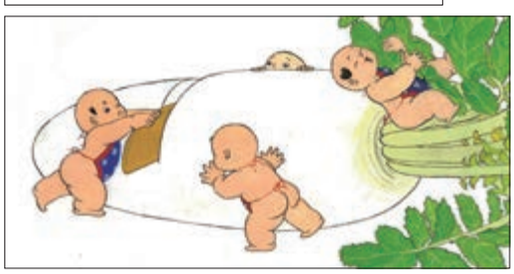
子育て中に絵本作家デビュー

37回生として、賢明で６年間お世話になりました。文芸部とコーラス部に所属して、家ではペンパルに手紙を書いたり、創作話を書き綴ったりするうちに１日が終わってしまうという毎日でした。

当時の私には知る由もありませんでしたが、後々思い返してみると、賢明時代に得ていたものがたくさんあったのだな、と気づかされることが多くあります。年間を通してのミサや行事の雰囲気も、多感な時期に味わったからこそ忘れ難く、自分が表現したいものをイメージする上で大事な要素になっています。

子育て中に絵を描き始め、応募した絵本コンテストでグランプリを頂き、遅咲きながら現在絵本作家として作品を描かせて頂いています。たかが絵本、されど絵本で、出版できるレベルの作品を創るには、根気と、情熱と、勉強が必要です。なにせ勉強が億劫だった私ですが、それについては今、当時の６年間を取り戻す勢いでがんばっているところです。





「きったら、まる！」白泉社より

37回生
新戸るり子さん
（旧姓：太田）
作家名　荒戸　里也子

＊profile

『おいぬさま』（白泉社）にて第2回白泉社MOE絵本グランプリ受賞、絵本作家デビュー。他に、『きったら、まる!』（白泉社）、『ろくろっくびのばけねこしまい』（作 二宮由紀子　絵 荒戸里也子 ブロンズ新社）がある。

『命を守るということ。』

私は、水難学会の着衣泳指導員として、「ういてまて」の普及活動をしている。ういてまてとは、水の事故から自分自身の命を守るための対策として着衣泳「浮いて救助を待つ」ことをさしている。

水難学会では、「命を守る着衣泳＝ういてまて（Uitemate）」と位置づけ、国内だけでなく、海外においても普及活動を行っている。

そもそも、私が水難学会を知ったのは、2011年の東日本大震災で起こった想定外の津波被害がきっかけである。津波でたくさんの方が犠牲になった中で、この「ういてまて」を実践し、助かった命があった。その事実を知り、ひも解くために学会の門をたたいた。

賢明入学当時からの夢である警察官を拝命し、命を守る仕事に従事している私にとって、「ういてまて」は目からウロコなものだった。いわゆる、自己保全力を高めることで、命を守ろうというのだから。

活動に感銘を受け、普及活動に参加することにした。活動内容は、いたってシンプル。「ういてまて」のポイントを体得してもらうこと。ういて、ういて、うきまくる。

指導員になり、早５年が過ぎ、毎年、夏季休暇は活動に消える。だが、プールで静寂の中、浮き続ける子供たちを見るのは、鳥肌ものだ。

あらむねを手にした賢明女子には、図を参考に、ぜひ試してもらいたい。体得するには、実践あるのみ。健闘を祈る。

※姫路市内の小学校を中心に、依頼により活動している。

40回生
小川　　純さん

＊profile

1974年：姫路生まれ。
1995年：警察官を拝命。
仕事、着衣泳指導員、そして中学2年生の息子の子育てにと忙しい毎日を送っている。

写真は、フレンズクラブ（ボランティアで指導の水泳教室）主催の親子ういてまて教室。

賢明2回生あるある　１回生は２クラス、２回生は３クラスだった。

賢明2回生あるある　図工の時間は運動場の整備をした。

Shining Stars

～卒業生の一人一人が輝いています～

パンダ靴と赤いリボンの私に、教えてあげたい未来の私

46回生
北川亜矢子さん
／脚本家

映像に興味を持ったのは、中学一年生の頃でした。

後に師匠となる、岩井俊二監督のテレビドラマ作品「打ち上げ花火、下から見るか？横から見るか？」の放送を見たことがきっかけです。

あのパンダ靴を履き、赤いリボンをしていた当時の私は、「映像作家になりたい」「自分の映画を作りたい」という夢を、強く抱くようになりました。

しかしまあ、そう簡単に実現できるものではありません。大学卒業後は、映像の制作会社に就職し、ウェブデザインや映像デザインに携わりました。

しかしそれから数年、私はやはり夢を捨てきれず、仕事の合間にオリジナル脚本を書き、岩井俊二監督が主催するコンテストに応募しました。地方から映画制作に関わるには、脚本を書くしかなかったのです。

いくらか遠回りしましたが、三十七歳になった現在は、テレビ・映画・舞台を中心に、脚本を書いています。少しずつではありますが、評価も頂けるようになりました。

そしてようやく、「自分の映画を作りたい」という、あの頃の夢を実現したのです。

映画「真白の恋」は、軽度の知的障害を持つ私の弟をモデルにした物語です。

彼の存在は、私の人格形成や、その後の人生観に、大きな影響を及ぼしています。

彼から学んだことを、いつか映画にしたいと思っていました。それがようやく叶いました。

坂本欣弘監督とは、次回作を準備中です。「真白の恋」に違わず、自信作です。

賢明在学当時、やんちゃで劣等生だった私が、今こんな記事を書かせて頂いていることが、不思議でなりません。当時の私が聞いたら、「いや無い無い」と笑うでしょう。

＊profile

宝塚造形芸術大学（現・宝塚大学）造形学科映像デザインコース卒業。
卒業後、大阪のデザイン会社にてWeb･グラフィック･映像デザインに携わる。
2005年、映像作家・岩井俊二氏が主催するシナリオコンクール「play works」に長編シナリオを応募。それが岩井氏の目にとまり、2006年より同氏に師事。アシスタントや助監督を務める。
2009年：ショートフィルムにて脚本家デビュー。
2010年：監督デビュー。
2013年：小説家デビュー。
映像、舞台、小説、監督、ゲームと、さまざまなジャンルで活動中。

第50代 お城の女王に選ばれて

62回生 **近藤　由紀**さん

お城の女王が決まった当初、正直“私が姫路をPRしていく一員になった”という自覚はありませんでした。５月に行われた『姫路お城まつり』にて初めて公の場で今後の意気込みを話しました。その時に自覚が少し芽生え始めました。お城の女王になってからの日々は姫路について学ぶことがたくさんありました。

半年の活動を通してたくさんのイベントに参加させていただきました。姫路の文化を大切にしているその姿勢、そのイベントに参加する方々の活気溢れる空気に触れ、また活き活きとした笑顔を見かけることが出来ました。その光景をお城の女王という立場であるからこその客観的にまたどこか主観的な視線で見ることができ、姫路お城の女王になることが出来て良かったと思いました。

姫路お城の女王になってからは、長年姫路に通っていながら姫路の知らない素敵な所を発見できる喜びがたくさんありました。また北海道や福岡、長野等たくさんの県外に行かせていただき姫路をPRする度に、食の豊かさ、文化の豊かさ、人の良さを改めて感じました。普段身近にあるからこそ当たり前のように感じていた存在や物に気づき直すことが出来ました。カレンダーをめくり気付けば任期終了である今年の５月まで３ヵ月程になりました。今後も姫路について学び、当たり前のように思っていることにも初心を大切に再発見する気持ちを心がけ姫路の良さを私なりに伝えていけるよう日々精進していきたいと思います。

近藤由紀（62回生）
（1996.06.26）

神戸女学院大学文学部
総合文化学科３年生

2016年第47期サンテレビガールズ（１年任期）

2017年第50代姫路お城の女王（１年任期）

大学では裏千家茶道部に所属しています。
勉強は社会学を主として学んでいます。（人身売買、差別問題を含む社会問題などについて）

賢明2回生あるある　掃除の時間になるとシスターが泡立てた石けんをバケツに入れて持って来られた。それで雑巾を絞って、腰板を拭いた。

子供のための異才発掘プロジェクト『ROCKET』リーダーとして
～公教育ではカバーできない領域を補う～

47回生
大塚　理恵さん
（旧姓：福本）

＊profile
1981年：姫路生まれ。
東京大学先端科学技術研究センターの交流研究員を経て、東京大学大学院博士課程に進学。心のメカニズムを探るべく認知能力（モノの捉え方）についての研究をするも、自身の体調を崩したことをきっかけに、日々の食の重要性を再確認する。「豊かな心は、楽しい食卓から」をモットーに、「種から育てる子ども料理教室」のカリキュラム作成および運営に携わる。2013年からは東京大学先端科学技術研究センターにて、農と食から教科を学ぶ「Life Seed Labo」を企画、2014年からは「異才発掘プロジェクト：ROCKET」のプロジェクト リーダーとしてカリキュラム開発と運営に携わる。

▶プロジェクトの一員になったきっかけ

ROCKETのプロジェクト リーダーを務める前の2013年、東京大学先端科学技術研究センター（以降、東大先端研）に戻ってすぐに任された仕事はキッザニアさんと一緒に農作業と料理を通して活動から教科を学ぶ「Life Seed Labo」という教育プログラムを作ることでした。教室をキッチンと畑に、教科書とノートをiPadにして、活動から学ぶ新しいスタイルがこれから必要になるだろうとこのプログラムから実感しました。2014年に東大先端研と日本財団が共同で新しい教育を始めようと声をあげた際に、活動主体な学びをオルタナティブな教育の軸にしようと方針をたて、活動実践を行っていた私にプロジェクト リーダーの白羽の矢を立てて頂きました。大学院を休学したり、料理の道へと寄り道していたことが功を奏して、とてもいいタイミングでアカデミアに戻ることができたのだと思います。

▶異才発掘プロジェクトROCKETについて

ROCKETとはRoom Of Children with Kokorozashi and Extra-ordinary Talentsの頭文字です。教室という枠におさまらないユニークな志ある子どもたちを集めて学びを補償しながら、やりたいことを仕事にして生きていけるようサポートするプロジェクトです。空気を読まず人と違うことを行っていく子どもたちは、これからの社会にイノベーションを生み出す種を落としてくれるだろうと期待し、そうした子どもたちが潰されずに社会で活躍できる場を作ることを目的にしています。自分らしさを存分に個が発揮できる社会こそ、多様な価値観を生み出し誰もが自分の幸せを追求していくことのできる世界になると信じて、日々ユニークな子どもたちと格闘しています。

▶ROCKETの事例

選ばれた子ども達がROCKETで初めて体験するのが「解剖して食す」という授業です。名前の通り、食材を解剖して食べるというシンプルなものです。初年度、子どもたちに用意されたのは目がエメラルドグリーンに輝くとびきり新鮮なイカの数々。エイリアンのようなコウイカや5cmほどの小さなヒイカなど何種類ものイカを目の前に、「今日はこれを解剖して食べます。」と一言。用意されている道具は、まな板と真っ白の布巾とはさみのみ。教科書なし、時間制限なし、やり方は自由。子どもたちは墨袋からイカスミを取り出し、イカスミのパエリアを作ることをミッションとして課されます。普段は学校の枠にはまりたくないという子どもたちも、自由にやっていいと言われると答えを求め戸惑います。しかし、ユニークな子どもたちが生きていく道に教科書や正しい答えなどありません。自分のやり方を試行錯誤の末に見つけながら納得いく決断をしていくことでしか、自分らしく生きることはできないのです。悪戦苦闘の末に出来上がった一皿は、誰一人として同じものはなく、自分らしい出来栄えに子ども達の顔は自信で輝きます。自分の道を迷いながらも進み、決断していく人生を送るための一歩を踏み出そう、そんなメッセージがこのプログラムには込められています。

これからShining

59回生のAさんとBさんに、社会人２年目女子のリアルな実態について話を聞くため、ランチ会に同行しました。

Q．社会人２年目迎えてどう？

A：もう２年目!? って感じよね。
B：うん、あっという間やった。
A：環境の変化と覚えることばっかりで…もう１年経ったんやーって。
B：２年目から指導係の先輩が外れて、独り立ちしないといけなくなって。ほんとの意味での社会人は２年目からだと感じてる。
A：後輩入ってきたら雑用から逃れられる！ やった！ と思ってたけど変わらず…あ、でも嫌なことがあったら心のシャッターが自然に閉じるようになったかも（笑）

Q．２人の恋愛について聞かせて！

B：まわりにはちらほら結婚し始めてる子もいるけど、まだ焦りは感じてないかな。
A：うそ！ ちょっと焦ってる。でも、周りからは選びすぎやーって（笑）そんなつもりないんやけどなぁ
B：一緒に合コンにも行ったけど、あまりピンと来る人いなかったよね（涙）Aの会社には、かっこいい先輩とかおらんの？
A：いるけど既婚者。
B：それはあかん（笑）また合コン行こな！（笑）

同窓会だより

同窓会の報告原稿を募集しております。毎年12月末締切りとさせていただきます。お写真、記事をメールかお手紙にてご連絡ください。

メールアドレス　rivier.kenmei@gmail.com

13回生 同窓会　2017年9月16日

卒業半世紀！母校の文化祭にあわせて「古希同窓会」施設に入所されているシスター横山にお会いして、まだまだ喋り足りない8人は泊まり掛けで旧交を暖めました。

25回生 同窓会　2017年10月28日

思い出深い賢明に集い、懐かしいSr.江田、伊賀崎健志先生、上田（坂田）先生にお会いできました。

心静かに祈りの集いの時間をもち、最後はフォークダンスで、はじけました。

次回は５年後の予定です。皆さん、「いい顔」で、お会いしましょうね。

幹事：有本（安良田）・松原（池野）

63回生 同窓会 2018年1月8日

1月８日成人式後、同窓会を開催しました。会場には、たくさんの笑顔と笑い声が溢れ、20歳になっても変わらない63回生の皆と楽しい時間を過ごしました。

7回生 同窓会　2017年4月10日

全員が後期高齢者になったお祝いの同窓会を開きました。37名の方が出席されました。第２会場を大手前公園のイーグレ４Ｆにある茶室に設け、満開の桜に包まれた姫路城を眺めながら元気で会えた事を喜び合いました。案内状は出しませんが、毎年４月10日は７期生のお花見の日とし、イーグレ４Ｆに集まりましょう。11時です。近況報告においで下さい。新旧理事とお待ちしています。

神谷邦子

18回生 同窓会　2017年11月30日

前回の還暦同窓会より５年ぶり、舞子ホテルにて開催いたしました。小杉春生先生、伊賀崎健志先生、中谷睦子（旧姓 本庄）先生のお３人がご参加くださり、29名の生徒が集りました。私達生徒は、皆それぞれに人生を経験し、まろやかなお顔、人柄になりましたが、面影は賢明学生時代のままでした。懐かしい１日を過ごさせていただきました。感謝いたしております。

幹事　相馬（飯尾）矢冨（小林）

29回生 同窓会　2017年11月11日

平成29年11月11日（土）賢明女子学院同窓会室にて29回卒業生の同窓会を開かせていただきました。料理は近くのゼブラというレストランからのケータリング、飲み物とお菓子は自分たちで用意し、それぞれセルフでのラフな同窓会となりました。

先生方のうち、出席していただけたのは小河尚子先生お一人ではありましたが、三人分以上ありそうなパワーとトークで、懐かしくも楽しい母校での会にしていただけました。先生のお言葉で心に残ったのは

1.人間って素晴らしい！　2.絶対ということはこの世には存在しない。

ということ。他人に対し、また自分に対して愛を持って接するようにとの先生の言葉が温かく、ずっと覚えておきたい言葉になりました。

最後は残った全員で後片付けも手伝ってくださり、予定時間ピッタリで終えることが出来ました。また会える日を楽しみに…

野村・長谷

30回生 同窓会　2017年2月5日

一昨年より有志の声掛けで始まったミニ同窓会、今回は、34名が集いました。卒業して30年以上経ちましたが、再会は、皆を賢明時代に引き戻し、会話も弾んで、和気あいあい、楽しく懐しい時間は、あっという間でした。こういう時間を持てたことが、非常にうれしく、感謝の気持ちでいっぱいです。

東京でも集まりの輪が広がっています。離れていてもすぐにつながる賢明family。

次回の同窓会もたくさんの方が参加してくださることを心待ちにしています。是非、皆さま、お友達からお友達へと、輪を広げていってくださるよう、よろしくお願いいたします。

同窓会役員　矢崎・壷阪

賢明2回生あるある　御聖堂の掃除では、さんの１つ１つに到るまで、ていねいに埃を拭くことを教えていただいた。

バザー報告 Bazaar

学院祭
2017年
9月16日（土）

9月16日（土）学院祭において、同窓会バザーが盛大に開催されました。雨天にもかかわらず沢山の皆様にご来場いただきました。

物品をご提供下さった皆様、バザーにお越し下さった皆様、開催にご協力下さった皆様、ありがとうございました。

来年度もご協力よろしくお願い致します。

ご冥福をお祈り申し上げます

わたしは彼らに永遠の命を与える。
彼らは決して滅びず、
だれも彼らをわたしの手から奪うことはできない。
ヨハネによる福音書十章二十八節

旧職員	石原　迪子	（小村）	2017年６月10日
１回生	林　曙美	（末次）	2016年６月15日
１回生	古舘　加津子	（佐和）	2017年２月17日
２回生	守谷　珠子	（的埜）	2016年３月17日
３回生	水野　圭子	（中野）	2017年９月２日
６回生	常木　敬子	（福井）	2015年６月23日
８回生	橋本　昭子	（下里）	2017年８月８日
８回生	田中　喜代子	（村上）	2015年２月
10回生	隅野　節子	（梅本）	2017年６月14日
11回生	藤田　圭子		2017年
13回生	中塚　いづみ	（梅本）	2017年５月５日
13回生	小川　佳世子	（木村）	
16回生	浜田　美知子	（有本）	2017年７月27日
16回生	元井　和子	（福永）	2016年９月
17回生	川越　美登里	（森澤）	2013年３月
18回生	稲葉　朋子	（稲葉）	2017年６月
23回生	小野崎　直子	（野口）	2016年11月13日
23回生	礒部　満里	（村山）	2017年４月
28回生	今津　和子	（木下）	2017年６月
40回生	大内　恭子	（三田）	2016年９月16日

賢明2回生あるある　神父様が教えて下さる際に、教卓に座られたのには驚いた。

賢明2回生あるある　修学旅行の船中泊では船底で寝た。

卒業生による、在校生のための

「キャリア教育講座」

今年度のキャリア教育講座は、下記の８名の卒業生の皆さん（内１名が今回初めての方）が講師を務めてくださいました。M３生（68回生）132名と３年コース生（高校入学生）10名を主たる対象に、後輩たちに熱き思いを語っていただきました。先輩方の生の声に在校生は熱心に耳を傾け、仕事を知るよい機会になりました。

2017 年度　キャリア教育講座の講師　〈7 月 24 日実施〉

氏　名	回生	職　業	居住地	講義のタイトル
松岡　京子	37	ゲストハウス経営	姫路市	道は一つじゃない。やりたいことをやってみよう
中川　公恵	39	大学准教授（薬学）	神戸市	理系女子（リケジョ）なら知ってほしい大学のこと、薬学部のこと、薬剤師の仕事のこと
住岡まどか	43	看護師・助産師・保健師	芦屋市	女子高育ちでよかった？ 女性の一生を支えます　助産師の仕事
鍛治かおり	47	ＡＮＡ関西空港旅客部社員	神戸市	飛行機をとばすってスゴイこと
三枝　由季	48	弁護士	姫路市	女性弁護士の1日
北原利江子	49	服飾職人	姫路市	オシャレをするって楽しいでしょ？ それを作るって、もっと楽しいよ！
田渕　　恵	50	学振研究員（心理学）	箕面市	心理学って何だろう。研究者って何だろう
小林　侑加	50	造形教室講師	姫路市	しくじりから学んだ働くよろこび

働き方をデザインする

48回生　**三枝　由季**〔弁護士〕

「M字カーブ」という言葉を御存知でしょうか。日本では、30歳代の女性が結婚・出産等で一旦仕事を止め労働力率が低下した後、一段落した40歳代で労働力率が再上昇するという傾向があり、これをグラフ化すると、「M」に似た曲線を描くというものです。女性の働き方に対する意識や、労働環境が整っていないこと等が原因とされています。

私が弁護士になりたいと思ったのは、受講生の皆さんと同じ、中学３年生の頃でした。父から勧められたのがきっかけですが、父は、結婚・出産等の転機があっても、弁護士であれば、自分の選んだ場所・勤務形態で働けると考えたようです。私は現在、M字カーブのボトムラインの年齢にあるものの、同期の女性弁護士は、結婚・出産後も比較的早期に職場復帰し、仕事や家庭を楽しんでいます。ライフスタイルに合わせ、事務所を移籍したり、企業の法務部に転職したりする人も多いようです。

父が弁護士を勧めたもう一つの理由は、依頼者等多くの人と接し、人間的に成長できるだろう、というものでした。実際に私が成長出来ているか否か、自信はありませんが、私の話を聞いて下さった方には、弁護士の楽しさややり甲斐について、少しは伝わったかな、と思います。

働き続けることだけが良い訳ではありませんが、もし皆さんがキャリアについて考えるときは、将来、どういう風に働きたいかを考え、自分でデザインできる職種を選んで欲しいと思います。キャリア講座の後、講師を担当された先輩方のお話を伺うと、色んな職種や楽しみがあり、私も是非、受講したい内容でしたので、本講座が良いきっかけとなることを願っています。

「好き」を仕事にするということ

49回生　**北原　利江子**〔服飾職人〕

私は、女の人の服を作る、服飾職人です。姫路にある創業50年を超える婦人服店で、祖母から受け継いだ高級婦人服の仕立てを行っています。今回の講座では、小さい頃から身近にあったファッションの世界で、幼少期からの憧れだった、留学という体験で知った“本物に触れる”ことの大切さや、世界中での仕入先で目にした気候風土にあった生地の性質や生産方法を、実際の生地に触れながら聞いてもらい、その背景にある歴史を知ることで、一着の服にも物語があることを知ってもらいました。

高級婦人服に求められる上質な仕立ての意味など、生徒たちにとっては今まで考えたことのない話ばかりだったようで、こういう世界もあることを知り、視野が広がればと思っています。美しいものを世界中から集めて、上質な服に仕立てて、お客様を幸せにする。とても夢のある仕事だと思っています。

職人という仕事は、普段人前でお話しすることが少ないので、母校の生徒たちに自分の仕事についてお話しできるのは、自分の仕事に対する信念を見つめ直すとてもいい機会をいただけていると思います。“縁の下の力持ち”、賢明在学中、私を表す言葉として、先生によく言われました。地味だけれど大切な仕事。職人とはそういう仕事だと思います。在学中に経験したあらゆることが、私の土台となって今の仕事に活かされています。

生徒たちの澄んだ眼差しは、可能性にあふれています。私の話で、在校生が「好き」と思えることを見つけて、一生の仕事に出会うきっかけになればうれしいです。

賢明2回生あるある　神父様が、人前で鼻をかまれていたのを、日本ではエチケット違反だと教えてさしあげた。

同　窓　会　会　則

賢明女子学院高等学校同窓会

会　　則

第 1 条　　（名称）
本会は賢明女子学院高等学校同窓会「リヴィエ会」と称する。

第 2 条　　（目的）
本会は会員相互の親睦を図り、母校の発展を助長することを目的とする。

第 3 条　　（会員）
本会は次の会員を以って構成する。
1. 正会員：賢明女子学院高等学校を卒業した者。又は在学した者で役員会に於いて推薦を受けた者。
2. 特別会員：母校現職員並びに旧職員。

第 4 条　　（所在）
本会は本部を姫路市本町 68　賢明女子学院内に置く。但し、必要に応じて地方に設けることが出来る。

第 5 条　　（役員・役員会）
1. 構成：会長１名、副会長３名以内、書記２名、会計２名、常任理事（10期毎に１名）、顧問（賢明女子学院校長・前同窓会会長）２名で構成する。

第 6 条（任期・任務）
1. 任期の年度は４月から始まり翌年３月で終了する。
2. 役員の任期は２年とし、再任は妨げない。
　但し、理事会の承認を得ること。
3. 任務：
3. 1. 会　長：本会を代表し、会務を総理する。総会、理事会、役員会の招集を行う。
3. 2. 副会長：会長を補佐し、会長に支障ある時は之に代わる。
3. 3. 書　記：役員会、理事会、総会及び臨時の会合記録をとり、ファイルする。会員の閲覧要請に対応する。
3. 4. 会　計：同窓会費の全ての経理事務を担当する。
3. 5. 常任理事：本部役員の補佐をする。
3. 6. 会計監査：会計年度末及び役員会の要請に応じて会計帳簿の監査を行う。会計監査終了後、報告書と監査済報告書を役員会に提出し、理事会において承認を得る。
3. 7. 顧　問：重要事項につき諮問に応じる。

第 7 条　　（理事・理事会）
1. 理事は各期より２名、新人会の期は、８名を選出し、各期の代表として議決権を有する。
2. 理事会は会員の代議機関として各期の意見を反映し、決議に関しては出席理事の過半数の賛成を要する。
3. 理事会の成立は過半数の出席（委任状を含む）を必要とする。

第 8 条　　（特別委員会の設置）
役員会で必要であると認めた場合に適切な委員会を設置する。

第 9 条　　（会計年度と財務）
1. 会計年度は４月１日から翌年３月末日までとする。
2. 財務に関しては入会金、終身会費（在学中に積立）と寄付金を以って之に充てる。

第 10条　　（同窓会の活動）
1. 同窓会の活動は原則として営利を目的としない。
2. 年１回は会員相互の交流及び親睦を目的の集い（バザー等）を行う。
3. 年１回、同窓会報「あらむね」を発行する。

第 11条　　（会則の修正及び改正）
1. 会則の修正及び改正の必要が生じた場合、特別委員会として会則改正委員会を設置し、この任に当たる。
2. 理事会出席者の過半数の賛成を持って、修正及び改正は成立する。

附 則
本会の資産保護の為、金融機関一行当たりの預金額は、預金保護法に基づいた金額を超えない範囲とする。

本会則は
1963 年　名簿発行時に施行
1991 年　一部修正
1999 年　一部修正
2004 年　一部修正
2011 年５月 15 日　改正・発効

賢明女子学院 同窓会室 利用手引

利用時の注意事項

- 利用目的として、同窓生の親睦を主とするため、利用対象は卒業生・在校生のみとなります。
- 利用日および時間帯は学院に準ずるものとなり、原則、月曜日～土曜日、９時～16時。
  休校日の利用については、相談に応じます。
- 基本的に使用料は無料。
  有料の講習会等の場合は、１回（４時間まで）500円。１日中利用の場合、1,000円。

※利用申請書は裏表紙記載の賢明同窓会のホームページよりダウンロードできます。また、学校の受付にも置いてあります。

利用申請者	学　院　側
利用日までに ①別紙申請書に記入後、FAX・郵送、または学院へ直接持参。	→ 事務室受付へ
電話:079-223-8459／FAX:079-223-8478 受信確認は申請者の任意でお願いします。	受取後 ② 学院にて使用可否確認。 ※使用可能な場合、連絡はありません。
③使用不可の場合、学院より連絡あり。	←

利用当日の注意事項

- 学院内のお車の駐車はご遠慮いただき、近隣有料駐車場をご利用ください。
- 同窓会室内の備品はいずれも使用可能です。ただし、備品を破損された場合は、弁償していただくこともありますので、ご了承ください。
- 利用後は、備品などを元の位置に戻し、清掃の上、ごみの持ち帰りをお願いします。

同窓会室をご利用ください。

本部だより

2017年度 活動報告

第70回中学入学式
●2017年４月８日（土）
会長、副会長が出席

2017年度理事会
●2017年５月21日（日）
10時～12時
●顔合わせ、行事予定の確認
●バザーの役割分担
●あらむね委員の選出

学院祭バザー
●2017年９月16日（土）
９時～15時
全理事でバザーの開催と喫茶を運営
（前日、バザー準備13時～16時　バザー品の値付け作業、喫茶会場準備）
バザーの収益金の中から下記の寄付
●学院へ10万円
●あしなが東日本大地震津波遺児募金へ10万円

追悼行事
●2017年11月２日（木）
11時45分～
会長、副会長ならびに逝去された回生の理事が出席

第66回創立記念ミサ
●2017年11月20日（月）
11時40分～
会長、副会長が参列

クリスマス行事
●2017年12月22日（金）
クリスマスタブローを会長、副会長、本部役員で観賞

あらむね封入
●2018年２月23日（金）
24日（土）
10時～16時の間で都合の良い時間に各理事で封入作業

卒業式予行演習
●2018年２月28日（水）
会長から卒業生へ祝辞と同窓会入会を説明

卒業式
●2018年３月１日（木）
会長、副会長が出席
同窓会からの記念品（コサージュと卒業証書ファイル）を64回生理事に各教室へ運ぶお手伝いをして頂く

各種会議
同窓会事務室にて
本部役員会議を月１回以上（約20回）
あらむね編集会議（月１回程度）

2018年度 活動予定

2018年
理事会
5月20日（日）
バザー準備日
9月14日（金）
学院祭バザー
9月15日（土）
10時～（喫茶9時30分～）
追悼行事
11月2日（金）
クリスマス行事
12月22日（土）

2019年
あらむね封入
3月1日（金）
3月2日（土）
卒業式
3月1日（金）

2016年度会計報告（2016年4月１日～2017年３月31日）

■ 収入の部　（単位：円）

項　目	備　考	金　額
64回生会費	@20,000×141名	2,820,000
名簿	@3,000×1	3,000
バザー売り上げ		705,300
雑収入		685
利息		3,026
合計		3,532,011

■ 支出の部　（単位：円）

項目	備考	金額
あらむね発行一式		1,444,790
卒業式	コサージュ	58,890
	証書ファイル	82,626
慶弔費		20,808
寄付（学院）		100,000
寄付（あしなが育英会）		100,000
義援金（熊本地震災害）		100,000
理事会経費		12,168
学院祭経費		45,415
関東地区同窓会関係		30,080
ホームページ制作		172,800
会議費		31,858
事務費		45,329
次年度繰越金		1,287,247
合計		3,532,011

2017年3月31日現在総資産額　35,127,167

あらむね編集委員募集！

「あらむね」の編集委員を募集しております。各企画など皆さんのアイデアを記事にしてみませんか？詳しくはリヴィエ会まで。

あらむね原稿募集！

同窓会やりました！同窓会開催します！卒業生の活躍、こんな仕事しています。賢明あるある、クラブ活動の思い出などなど「あらむね」に掲載いただける原稿を募集しております。どしどしお寄せください。

メールアドレス　rivier.kenmei@gmail.com

あらむね編集委員

委員長	29回生	野村　史江
オブザーバー	24回生	池内　恵美
	32回生	井上　純子
委員	9回生	岩崎　幸子・山川　靖子・北　佳子
	29回生	長谷　純玲
	36回生	藤原　知香・藤原　陽子
	47回生	土屋　志保・寺田　裕香
	59回生	石本稚香子・玉石　真理

賢明2回生あるある　クリスマスの夜は公会堂で壮厳ミサに全員で参加し、その後教室で劇やダンスをして、朝まで楽しんだ。

各理事へ連絡をとりたい場合は

個人情報の保護の為、各理事の連絡先は掲載しておりません。各理事への連絡を取りたい場合は、会長、副会長まで、もしくは同窓会Gmailにてお問い合わせください。

同窓会ホームページへの掲載を希望される方は

ホームページ掲載のご依頼は、以下の手順でお願いします。

① 賢明女子学院同窓会ホームページにアクセスする。
② ホームページ掲載依頼についてのガイドラインをご一読いただき、ご理解の上、掲載依頼書をダウンロードする。
③ 必要事項をご記入の上、Gmailで同窓会宛にお送りください。
（ＦＡＸでも学院宛に送信可能です。）

賢明2回生あるある クリスマスの時には、教室の窓ガラスにクリスマスの絵を描いて楽しんだ。

発行日：平成30年（2018年）3月
発　行：賢明女子学院リヴィエ会（同窓会）〒670-0012 兵庫県姫路市本町68番地 TEL.079-223-8456 FAX.079-223-8458
印　刷：小野高速印刷㈱

2018年度 関東地区同窓会のお知らせ

日　時　2018年９月30日（日）
受付11時・開宴12時
（今回は６月ではなく
９月となります）

場　所　帝国ホテル　雅錦の間
〒100-8558
東京都千代田区内幸町１-１-１

連絡先　kenmei.kanto@gmail.com
※質問がございましたらお問い合わせください。

賢明ファミリーの親睦をなお一層深められますよう、幹事一同楽しい企画を準備する予定です。

日本の迎賓館である帝国ホテルは東京駅からも近く交通の便も良いです。

気候も良い時期ですので、関西の方も皆様お誘いあわせの上是非いらしてください。

詳細は同窓会ホームページにも掲載する予定です。

代表幹事　竹田真矢（27回生）

学院祭バザーのご案内

2018年度

今年も９月に学院祭が開催されます。
同窓会では例年通りバザーと喫茶を各回生の理事全員で行います。
当日は、同窓会室にくつろぎスペースを設けております。お子様連れの方もご利用ください。

日　時　2018年９月15日（土）

バザー　時間　10時00分～
場所　同窓会室（食堂東隣）
※品物がなくなり次第終了

喫　茶　時間　９時30分～13時30分

場　所　賢明女子学院

バザーの出品物（日用品・手芸品など）にご協力下さい。出品物には、必ず希望の売値をつけておいて下さい。

また、管理の都合上**９月１日(土)**以降に本学院までご郵送・ご持参ください。
（平日の17時まで受付）

2018年度 理事会のご案内

日　時　2018年５月20日（日）10時より　　**場　所**　同窓会室

※理事が出席できない場合は必ず代理の方をお願いします。

表紙について　「マリアと天使たち」
47回生　土屋　志保（旧姓 山田）

鳥取県「扇雀食堂」さん２階のお座敷の窓にステンドグラスパネルをデザインから製作させて頂きました。

ステンドグラス遊園地
JAHPON LAND
http://www.JAHPON.com

編集後記

今年は２回生の方々に貴重なお話をお伺いすることができました。是非ページ下の「賢明２回生あるある」を御覧下さい。

編集にあたり、懐しい先生方や卒業生の方々に出会い、又、年代を越えて意見交換ができ改めて賢明の良さを感じました。

協力して下さった全ての皆様に感謝申し上げます。

賢明女子学院　検索

http://www.himejikenmei.ac.jp
同窓会ホームページは、学院ホームページ下部にあります「同窓会」よりご覧下さい。

住所異動はご連絡下さい。　TEL.079-223-8456　FAX.079-223-8458
E-mail　rivier.kenmei@gmail.com